

YOKOHAMA ASAHI ROTARY CLUB WEEKLY



2024-25年度 RI 会長 / ステファニー・アーチック
RI.D2590 ガバナー / 長戸はるみ
横浜旭RC 会長 / 北澤 正浩

カールスカウト
とクリーン作戦



第11回 チャリティーコンサート

国際ロータリー第2590地区

横浜旭ロータリークラブ

事務所 横浜市旭区万騎が原33 / 〒241-0836
TEL.080-1215-6668 / FAX.045-362-0024
http://yokohamaasahirc.org
Email: asahirc@titan.ocn.ne.jp
例会場 二俣川駅ジョイナステラス3 / 4F コミュニティサロン
例会日 月3回水曜日 / 12時30分 ~ 1時30分

2025年2月19日 第2571回例会 VOL.56 No.24

■司会 SAA 関口 大樹

■開会点鐘 会長 北澤 正浩

■出席報告

会員数	21名	本日の出席数	17名
本日の出席率	80.95%	修正出席率	80.00%

■本日の欠席者

日向、中谷、二宮、宋

■オンライン出席 福村、草柳

■他クラブ出席 新川 (地区)

■皆出席表彰 安藤会員 20年
北澤会員 12年

■会長報告

北澤 正浩



みなさんこんにちは。

本日もお忙しい中、例会にご出席いただき誠にありがとうございます。

先日の例会では、今シーズンの寒波による影響についてお話ししましたが、今月2度目の寒波が昨日18日(火)から24日(月)頃にかけて襲来しています。本日19日(水)は、そ

の前半のピークとなり、日本海側を中心に大雪となっています。特に滋賀や三重などでも雪が強まり、積雪が確認されている状況です。

これからの数日間も寒さが厳しく、交通への影響も懸念されます。今週末には三連休を迎えますので、ご予約のある方は、最新の天候情報や交通情報をしっかりと確認し、安全にお過ごしいただきたいと思います。

さて、先週お話しさせていただいた「MY ROTARY」の登録のお願いですが、皆さまのご協力のおかげで、先週より1名増え、登録者数が10名となりました。これにより、クラブ全体の登録割合は42.85%から47.62%へアップし、あと1名のご登録で過半数を超えることとなります。ここまでご協力いただいた皆さまに、心より感謝申し上げます。

しかしながら、依然として未登録の方が11名いらっしゃいます。MY ROTARYは、ロータリーの情報をより深く知ることができるだけでなく、クラブ活動の充実にもつながる大切なツールです。まだ登録されていない方には、ぜひともこの機会にご登録いただきたく、改めてお願い申し上げます。操作方法などでご不明な点がございましたら、どうぞ遠慮なくご相談ください。

最後に、以前お配りした例会場に関するアンケートについてですが、現時点でまだ全員の回答は揃っていない状況です。しかしながら、一

定数のご回答をいただいておりますので、その暫定結果を本日お配りいたします。

このアンケートは、今後の例会場について皆さまのご意見を集める大切なものです。まだ回答をお済みでない方は、ぜひご協力をお願いいたします。

また、来月には情報集会を開催する予定となっております。その議題の一つとして、このアンケート結果を参考に、例会場について皆さままで議論いただくことになるかと思えます。そのため、本日お配りする資料に目を通していただき、ご自身のお考えを整理しておいていただければ幸いです。

より良い例会の場を確保するため、引き続き皆さまのご協力をお願いいたします。本日もどうぞよろしくをお願いいたします。

- 幹事報告 市川 慎二
第14回理事会報告（7頁参照）
- 次年度幹事報告 関口 大樹
第2回理事会報告（8頁参照）
- 親睦委員会 田川 富男

第二回 情報集会の開催

親睦委員会 田川 富男

各グループは課題テーマに合わせて討議をお願い致します。
グループリーダーの方は集会の場所・時間の作成と下記のテーマをまとめて発表を開催後の例会で実施してください。

記

情報集会 課題テーマ

- ① 来期に向けて例会のあり方（開催日・時間・場所・例会の方法等）
（会長よりアンケート資料ありとのこと）
- ② 次の例会から即出来る例会改革（すぐ出来る簡単な事でOKです）
（実施するかどうかは内容と全員の承認次第です）
- ③ 会員増強策

グループメンバー

Aグループ	Bグループ	Cグループ
岡田 隆 (サブリーダー)	佐藤 勉 (サブリーダー)	日向 彰 (リーダー)
新川 尚	目黒 恵一 (リーダー)	福村 正
増田 嘉一郎	草柳 孝弘	関口大樹 (サブリーダー)
関澤 信吾 (リーダー)	宋 謹衣	五十嵐 正
安藤 公一	二宮 麻理子	佐藤 真吾
田川 富男	中島 徹	佐藤 利明
	中谷 逸希	

北澤会長・市川幹事の2名はフリー参加

予定

*情報集会の開催時期は3月中に実施してください

*情報集会の発表は4月の例会でお願い致します

■3か年 project

五十嵐 正

昨年3月に行いました、瀬谷クラブとの合同例会の内容をロータリーの友に提供したところ、今年4月に防災の企画に紹介したい旨連絡を頂き、先日その校正刷りが届きました。その中で、横浜旭RCが立ち上げた災害対策委員会の活動の経緯を説明してあります。早急に返事をしなくてはならないので、皆様お読みいただき、お気づきの点がありましたらご指摘願います。

■ロータリーの友紹介

新川 尚

横組み

p. 7～ジョージ武井さんのインタビュー

「差別、闘い、そして未来への夢」

1937年アメリカ生まれの日系アメリカ人。5歳の時にアーカンソー州ローワー強制収容所に収容される。1960年代にテレビドラマ「スター・トレック」に出演し人気を得る。近年ゲイであると公表し、ソーシャルメディアなどでも発信を続ける。

p. 19～ロータリー研究会レポート

p. 25～ポリオ根絶に向けて

尾身茂氏にロータリー・ポリオ根絶大使を委嘱。ロータリーへの精神的支援をいただけるようにお願い。

p. 52～エバンストン便り

RI理事会の決定事項

ローターアクトに関係する決議が多数。

p. 42～ロータリーアットワーク

「災害の疑似体験を防災につなげる」

縦組み

p. 4～SPEECH

ジョージ・武井さんのインタビューに呼応するかのような戦争に対する内容になっています。

■ニコニコBOX

北澤 正浩／①佐藤利明さんの卓話を楽しみにしております。②皆出席祝い、ありがとうございます。12年！？信じられません。

安藤 公一／①利明さん、本日の卓話宜しくお願ひ致します。②皆出席表彰、ありがとうございます。早いものでもう20年が経ちました。今後共宜しくお願ひ致します。

新川 尚／佐藤利明さん、本日の卓話楽しみ

以上

です。

佐藤 利明／本日は、貴重なお時間をいただき
よろしく。卓話担当させていただきます。

市川 慎二／本日は佐藤利明さんの卓話、楽し
みに来ました。宜しくお願ひ致します。

目黒 恵一／①佐藤利明会員卓話楽しみです。
②北澤会長、市川幹事キャンドルについてご理
解ありがとうございます。

岡田 隆／佐藤利明会員、本日の卓話楽し
みです。

佐藤 勉／佐藤利明会員、本日の卓話よろ
しくお願ひします。

中島 徹／佐藤利明会員、本日は卓話楽し
みにしております。

関澤 信吾／佐藤利明さん。今日の卓話楽し
みにしております。どうぞよろしくお願ひ致します。

■卓話「珠玉の辞世の句」 佐藤 利明

ロータリアンとして大切な責務の一つに例会出席がありますが、私は最近体調が良くなく、例会出席が思うにまかせません。出席規定の免除の特典を受けているその様な状況で卓話をお引受けするのは、如何がかと思いますがこの世に生をうけて幾星霜、自らの寿命のカウントダウンを自覚するようになりました。



よくも生きてきたとも思うし。生きていることは嬉しいものだ、と思っている。

個人的には老いるのは仕方ないにしても「病氣やケガ」をする方が怖い。

「元気で長生き」の実現に向かってこの十年研究は進んでいるようだ。

死ぬ事はいやなものだ。

人生は楽ではない、そこが面白い。悩みながらも、喜びを感じ何とか生きていく。

人生を生きた実感といえば、何の波風も立たない人生など、最もつまらない。挫折や苦勞など無いに越したことは無いと考えがちだが、振り返ってみると、大いに挫折しそこから立ち上がったたり苦勞を重ねて、乗り越えてきたからこ

そ、今日があるとしみじみ感じる。

人間関係の修羅場をくぐった人には、しなやかさ、強靱さが宿っていると思う。もっとも多く生きた人間は、もっとも多く年をかさねたものではなく、もっとも多く生を感じたものであるから、真実本気になって生きている。

生と死を考え続けた先達たちの姿は力強く、そこはかとなく美しい。

私も自らの老いをしづかに見つめている毎日でもある。

「もう少しだけ、生きてよ」ということなのか。老人らしく、老人として生きていこう。「日々是好日」

先週の卓話で田川富男会員が「三国志の諸葛亮」字名は「孔明」について話されたので、本日は日本に目を向けてみたい。

最近よく目にするのは、功なり名をあげた人（政治家・経済人・学者・芸能人）の死亡記事である。

そこで辞世の句（遺言）を歴史上の偉人にたどってみたい。辞世の句というのはただ遺言というより、次代に贈るメッセージをいう、意味あいがこめられていると思う。人は皆いずれ死ぬときがくるのだと知っている。死にたくないと思ひ、又、どんなに生きていたいと願おうと、確実に死ぬのだということを、潜在意識では覚悟している。わかっていても、その死を迎える用意できている人が、どれほどいるものだろうか。それでは本題に入りたい。諸兄良く御存知とは思いますが。

◎ 先ず第一に

【西行法師】(1118~1190 72 才没)

(平清盛と同年の生まれ本名佐藤義清(のりきよ)源平の乱に嫌気がさし23才で出家、そして名乗ったのが西行)

「身は捨つる 人はまことに 捨つるかは 捨てぬ人こそ 捨つるなりけれ」

その真の答を探し求めるかのように、一所不在と心に決めて諸国を行脚して旅に出た。そして40年もたった63才のとき、ふと浮かんだ心を「願わくは 花の下にて 春死なむ その如月の 望月のころ」と言の葉に託したのだろう。辞世の句というにはいかがとも思うが。

※如月…二月望月…十五日（調度今頃だと思ふ。）

◎次に戦国に生きた武将

【織田信長】(1534~1582 48 才没)

織田信長には明智光秀・豊臣秀吉・徳川家康の足下に3人の武将がいたが、明智光秀が本能寺を包囲したのを知ったとき、信長は「是非に及ばず」という言葉を発したとも伝えられる。これは信長が光秀を非常に可愛がっていた様で、格別、厳しく接していた為、それ故に信長の真意が理解されずに「残念だ是非に及ばず」となった模様との説あり。

「人間50年 下天の内を比ぶれば 夢幻のごとくなり 一度生を得て 滅せぬ者のあるべきか」
平安末期、源平の合戦で若くして散った、平の敦盛を題材にした「敦盛」という幸若舞の一部を信長がとても好み「天界・下天・下界」を意識した文言であったらしい。

天界 神が住む〈寿命がない〉

下天 神より下級の四天王の住む〈寿命500年〉

下界 人間が住む〈寿命約50年〉

【豊臣秀吉】(1522-1598 8.18 76 才没)

「露と落ち 露と消えにし我が身かな 浪速のことも 夢のまた夢」

語り継がれている秀吉の出世話は、日本人なら誰でも知るところだ。百姓の小卒から信長にとりいり、草履とり木下藤吉郎と名乗るようになり、一夜城を築くなど、とんとん拍子に成り上がり、羽柴秀吉となり本能寺の変でライバルを押し退け、とうとう太閤秀吉となる。前田利家・黒田官兵衛・福島正則・加藤清正・徳川家康・毛利輝元・上杉景勝・宇喜多秀家・等各武将を上手に重役に任じ、五大老の役職を作り、人の何倍もの人生を生きた男である。一生は長いようで短い。人生愚痴ったり悔んだりせず明るく元気で生きる、諦めも必要ということか。

【徳川家康】(1542~1616 74 才没)

「嬉しやと 二度さめて 一眠り うき世の夢は 暁の空」

巷で「織田が搗き 羽柴がこねし天下餅 座りしままに 喰うは徳川」

という戯言が語られた。いわゆる三人の性格を比喻した言葉だが

信長ならば「鳴かぬなら 殺してしまえ 不如

帰」と言うだろうし

秀吉ならば「鳴かぬなら 泣かせてみよう 不如帰」と言い

家康ならば「鳴かぬなら 泣くまで待とう 不如帰」と言うに、違いないとも。

信長、秀吉、家康の三者の性格や立場、意味を、言いえて妙、ということであろう。堪忍こそが無事に安泰できるもとの怒りは禁物。勝つことばかり知って、負けを知らないことは危険だと、自分の行動を反省し、人の責任ばかり追及するなど、家康は口にした。いつも不自由していると考えれば、不満が生じるはずがなく、欲心が起きたときには、自分の過去にあった苦しい時代を思い出せ。人生は何かやるとき、なかなか到達できないほうが、やり過ぎるよりよい。そう考え答えが「人の一生は重荷を負うて遠き道が行くがごとし」急がず、焦らずとも。

いずれにせよ、徳川四天王〔酒井忠次：徳川家臣の総まとめ役〕〔井伊直政：最年少であるが武田家旧家臣を取り込む〕〔原康元：戦略家一番の切れ者〕〔本多忠勝：戦国最強の武将〕家康戦国の世にピリオドを打ち、武家社会を上げた。

【細川ガラシャ】(1563~1600)

「散りぬべき 時知りてこそ 世の中の 花は花なれ 人は人なれ」

本名は玉、明智光秀の三女、16才で細川忠興に嫁ぐ、本能寺の変で人生が暗転、生きとし生きるもの、命、ほろびる時を知っていてこそ、花は花の寿命を美しく生き、人も人の寿命を美しく生きるのが世の倣い・・・とか

愛に生き誇りに生きるのを貫くことが難しいとき、人は美しく死んで、美しく生きた証を遺そうとするのかもしれない。

【伊達政宗】(1567~1636)

「曇りなき 心の月を先立てて 浮世の闇を照らしてぞ行く」

と詠った。乱世の勇将独眼竜政宗は、波蘭万丈の一生を送った。幼少の頃、庖癒のため片目を失った。19才で家督で継いで、南奥州の豪族を制圧し、秀吉・家康に対しても存在感を示した。「瓢箪から駒」という言葉をご存知であると思うが、大阪夏の陣が終わったある日、徳川

家康の孫である松平忠直が開く香合わせに紹介された。

客が集まった場で、香をたいて、それがどういふ香かを当てる遊びを香合わせという。招かれた大名たちは、みな弓矢や槍、楯など土産品を持参していた。それを景品に差し出すのである。政宗の持参品は瓢箪だった。これを見て、諸将は「東北の竜といわれるが、しょせん田舎者にすぎん」と内心で笑っていたという。香合わせが進み、勝った者はみな見事な武具を景品に欲しがった。政宗の瓢箪には誰も見向きもしない。しかし、まったく無視するのも悪いと思った某武将が、気を利かせて瓢箪を所望した。香合わせが終わり、帰り支度を始めた。すると政宗の供が、いままで誰も見たことがないような素晴らしい、見事な馬を引いてきた。政宗は先に瓢箪を受け取った武将を呼んで、なんと「その方に、この馬をとらせる」と手綱をとらせたのである。いわく「座敷の景品の台に馬を乗せるわけにはいかない。だから瓢箪にしたのだ。それを「瓢箪かる駒」というではないか」と政宗はカッカと笑ったという。

そして自分の人生に合格点がつけられる。自負と誇りを持って死んでいける。有難いことだと。

【上杉謙信】(1530~1578)

「極楽も 地獄もともに 有明の 月ぞ心にかかる月かな」と甲斐の武田信玄と幾たびも川中島で鏝ぜり合いを繰り返したことで知られて、織田信長をして、無視できないと怖れさせた。

越後の武将のこと、じつに豪胆な辞世の句である。

「有明の月とは、そろそろ夜が明けようとしているのに、まだ天空に残っている月のことというらしい。別れとか儚く消える恋心や、惜別の念を「有明の月」に見て歌に詠んでいる。武田信玄を好敵手と認めて、さぞや甲斐は山国で塩が不足しているだろうと、塩を送ったという逸話を残す、謙信にふさわしい。謙信が死んだのは49才病死とも、信長による暗殺ともいわれている。

【浅野内匠頭長短】(1667~1701)

「風さそう 花よりも猶 我はまた 春の名残りを いかにとやせん」

映画・TVでお馴染みの忠臣蔵であります。

江戸城本丸の松の廊下で吉良上野介に斬りかかったという、播州赤穂藩主内匠頭の話であります。殿中御法度の刃傷は、けっして許されることがなく、即日切腹の沙汰がくだってしまったのだ。風に誘われて散る花も名残り惜しいが、それよりもなお、切腹して散るわが身が残念だと、さぞかし悔しかっただろうと思う。

◎次は歌人・俳人

【小林一茶】(1763~1827)

「あままよ 生きても亀の 百分の一」

「これがまあ 終の住処か 雪五尺」

【良寛和尚】(1758~1831)

「うらを見せ おもてを見せて 散るもみじ」

良寛和尚は大乘仏教の修行で「空」の悟りを会得した名僧だと伝えられている。

だからこそ童心にかえって、純粹無垢に子どもらとたわむれたのだ。つまり無為自然に生きた。「人間、起きて半畳寝て一畳」の広さがあればいいと山間の狭い庵に棲み、一つの鍋で顔を洗い、手足をすすぎ、それで煮炊きをした。貧しいからではないという。本来「無一物、無一物中無尽蔵」どこまでが汚くて、どこからがきれいなのか、そんな境はなく物は一つ、洗ってしまえば、一つの鍋に汚いもきれいもなく無尽蔵と。

そして欲を出さなければ、あらゆることに満ち足りる、欲を出せば何ごともうまくいなくて、窮すると言うわけだ。「病になるときは病になるのがよろしく候、死ぬときには死ぬるがよろしく候」とすべて「天命」と。いま一つ良寛には「散る桜 残る桜も 散る桜」という辞世の句も遺されている。いま散らないで残っている桜も、いずれ散る桜なのだ。

「百年たったら みんな骨 くよくよしたって はじまらない」とも

◎次は幕末の風雲児

【西郷隆盛】(1828~1877 9/24 自決)

「ふたつなき 道にこの身を 捨小船 波たたばとて 風吹かばとて」

義侠と度量ある振る舞いで、混乱の幕末から維

新にかけて生き抜いた大器は、薩摩人のみならず、多くの日本人に愛された。西郷隆盛は自らを「南洲」と号して多くの言霊を世に遺している。「南洲遺訓」がいわば世間に発した遺言だ「命もいらす 名もいらす 官位も金もいらぬ」南洲遺訓は膨大なので、詳細は次の機会にまわしたい。

【吉田松陰】(1830~1859)

「親思ふ ころにまさる 親ごころ けふの音づれ 何と聞くらん」

「かくすれば かくなるものと 知りながら やむにやまれぬ 大和魂」

「身はたとひ 武蔵の野辺に朽ちぬとも 留め置かまし 大和魂」

【坂本龍馬】(1835~1867)

「世の中の 人はなんとも 言わば言え わがなすことは われのみぞ知る」

坂本龍馬は土佐国高知城下に生まれ、江戸で剣術や砲術の修行、帰国に土佐勤王党に加盟、その後土佐を脱藩し、幕臣勝海舟の門人になり、その後薩摩藩や長崎商人小曾根家の援助を受け、日本最初の商人といわれる、亀山社中を結成する。亀山社中の最大の業績は、大量の小銃や蒸気船の購入、運搬に成功したことであります。新しい時代を開くための足がかりとなったのです。海援隊は龍馬率いる亀山社中が発展したもので、土佐藩重役の後藤象二郎や薩摩藩の西郷隆盛の協力により設立されました。日本の夜明けを手操るため、世界を見すえており、まさに「いごっそ魂」です。

俺がやろうとすることを誰もわかるまい。なんとでも言いたければ言え。自分の為すことは俺だけが知っているんだ。世間に向かって叫びたいことだってあり、そうだそうだと膝を打ちたくもなろうと。旧守派は自分たちの存在が否定されるものだから、先駆者を排除しようとする。そういう時の流れ逆らう画策が、龍馬暗殺の悲劇を生んでしまった。

【高杉晋作】(1839~1867)

「おもしろき こともなき世に おもしろく すみなすものは 心なりけり」

感情の起伏が激しい少年だった晋作が、松下村塾に入門したのは19才。当時としては学を志

すのが遅いが、吉田松陰の薫陶を受けて、幕末の志士に生まれ変わった。

25才のとき「西行く人を慕うて 東行く 我が心をば 神や知るらむ」と詠んで頭を剃り、自称「東行」と号す。気性の荒い若者が、あの西行法師にあこがれるようになった心境の変化が面白い。倒幕の志を固めて、長州から望めばはるか東の江戸へ向かう決心を詠んだ。そして奇兵隊を募り組織し、幕藩体制を突き崩す働きをする。そのように幕末の風雲児として、突っ走ったものの、わずか四年、奇しくも松陰と同じ29才にて病にたおれる。死の床で「おもしろき こともなき世に おもしろく」と辞世の句を詠みかけたが、後を続ける、力がなかった。そこで枕元にいた、野村望東尼が受けて「すみなすものは 心なりけり」と下の句を続けたのだという。

◎次の知覧については、九州周遊のおり、知覧を訪ね強く印象に残った、知覧特攻平和会館の展示室で特攻隊の遺書の一部である

【知覧】

特攻隊を送り出した町、鹿児島県知覧。悲しい歴史を刻む写真や遺書、特攻機が知覧特攻平和会館の中に展示されている。若き青年たちが、出撃前に家族へ遺書を書き、声を殺して泣いたという兵舎が再現されている。特攻機は離陸後上空を旋回し、見送りの人に挨拶し、開聞岳の後方に消えて行ったそうだ。米軍の上陸を阻止するためにと記してあった。館内の壁に掛けられている、青年たちの写真は、何も語りはしませんが、凜とした表情に、家族や思いの人への気持ちを残しながら、国の為に若き命散る運命だった。彼らの無念さが伝わってきた。涙がとまならない。彼らの無念を思い忍び現在の平和に感謝、永遠の平和を祈りたい。

「散るために 咲いてくれたか 桜花 散るこそ ものの見事なりけり」特攻隊増田利雄軍曹「咲く桜 風にまかせて 散りゆくも 己の道ぞ 顧みはせじ」特攻隊藤村 勉
特攻の母、富屋食堂のおかみ鳥浜トメが、常にこの句を筆書きしていた

■次週卓話 3 / 12 工藤 裕貴様
(浜銀 TT 証券、二俣川支店支店長)

2024~2025 年度 横浜旭ロータリークラブ

第十四回理事会議事録

日時	2025年2月5日(水) 13時30分より	出席者	北澤正浩 安藤公一 佐藤真吾 五十嵐正 田川富男 新川尚
場所	例会場		関口大樹 市川慎二
		欠席者	岡田隆

【報告事項】

地区関係

- 1 2月26日(水) 18:00~ ロータリー希望の風奨学金チャリティーコンサート
はまぎんホール(朝倉春奈さん出演)

クラブ関係

- 1 1月15日(水)にロータリー財団奨学金に申請された、田代優奈さん、佐藤由香里さんの2名と面接し、当クラブでは推薦とした。
- 2 3月5日(水) 13:30~ 第十五回理事会
- 3 能登半島地震義援金として3万円を残して106,449円を日本赤十字に振込済み。
以下募金額詳細
・2024年1月チャリコン 103,449円 フォルテ祭 14,000円 区民まつり 19,000円 計 136,449円

【審議事項】

1 チャリコン決算について

新川会員より次回の理事会にて決算報告

2 情報集会のアンケート結果、次回テーマについて

北澤会長より、集計は出揃っていないが、集計結果を一度お知らせする。

その上で、情報集会の議題として、例会開催にあたり、現在の曜日、時間、回数などについて審議してほしい。次年度に向けての参考にもなる。プログラム記載の通り3月に開催予定。

3 その他

NPO 法人アクションポート横浜より、横浜アクションアワードへの寄付依頼があった。昨年度は代表及び学生が卓話に来られ、地域で活動する若者と繋がり応援してほしいとのことで、今年度は寄附をすることになった。これを機に、当クラブの新しい活動を模索していきたい。また、2025年2月22日(土) 11時~17時に横浜市役所アトリウムで地域活動の取り組みについて発表があります。後日、卓話にて来訪予定。

承認

2025-26年度

第2回理事役員会議事録

- 日時 2025年2月12日12時 ■出席者 北澤、岡田、安藤、目黒、佐藤勉、五十嵐
 (敬称略) 関口(書記)
 ■場所 例会場 ■欠席者 新川、福村

●議題【報告事項】

〈地区関係〉

- 1、25-26年度地区研修・協議会開催の案内
 2025年3月24日(月)15時～
 エポックなかはら(川崎市総合福祉センター) 3階ホール

【審議事項】

- 1、25-26年度組織について

2025-26年度 横浜旭RC組織表

会長 五十嵐 正	SAA 北澤 正浩	理事 安藤 公一
会長EL 関口 大樹	副SAA 佐藤 勉	理事 新川 尚
副会長 福村 正	副SAA 中島 徹	理事 岡田 隆
幹事 関口 大樹	理事 北澤 正浩	理事 佐藤 勉
副幹事 佐藤 勉	理事 福村 正	理事 関口 大樹
会計 目黒 恵一	理事 目黒 恵一	理事 五十嵐 正

会計監査 佐藤 利明

委員会	委員長	副委員長	委員
クラブ管理運営			
親睦・出席	佐藤 勉	佐藤 勉	市川 慎二、目黒 恵一
会報		中島 徹	中谷 逸希、草柳 孝広
プログラム		関口 大樹	関澤 信吾、日向 彰
会員増強	関澤 信吾	五十嵐 正	岡田 隆、中島 徹
公共イメージ	佐藤 真吾	福村 正	田川 富男
奉仕プロジェクト			
職業奉仕	岡田 隆	田川 富男	佐藤 真吾、中谷 逸希
社会奉仕		岡田 隆	日向 彰、草柳 孝広
国際奉仕		二宮麻里子	佐藤 勉
青少年奉仕		市川 慎二	
ロータリー財団	新川 尚	増田嘉一郎	
米山記念奨学会	安藤 公一	二宮麻里子	宋 謹衣
災害対策	北澤 正浩	五十嵐 正	新川 尚、安藤 公一 佐藤 真吾、増田嘉一郎
チャリティー コンサート部会	福村 正	新川 尚	